

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 尾鷲市	対談項目1 人口減少対策について	<p>本市では、人口減少問題に対し、「定住移住促進」と「少子化対策」の2つの観点から取り組む。</p> <p>「定住移住促進」では、集落支援をはじめ、空き家バンクの活用、全国へのPRなどに取り組んでいくので、県としても最大限のご支援をお願いしたい。</p> <p>「少子化対策」については、子育てに関するまちづくり会議を、PTAや地域の方々とともに発足させ、子育てしやすいまちづくりを進めていくとともに、「少子化フォーラム(仮称)」を本市において開催するなど、本年度を「人口減少対策」のスタートアップの年と位置づけ、本市の施策の最重要課題として一層推進していく。</p> <p>これからの少子化対策、人口減少対策、男女共同参画などの取組を、三重県と尾鷲市が一体となって取り組んでいけるよう、今後の関連する事業においてご指導、ご協力をお願いしたい。</p>	<p>人口減少問題を完全に解消できるという施策はないので、県も市と一緒に、どういう所に原因があるのか、どういうきめ細かな対応が必要なのかを知恵を出し合って、制度、情報発信、相談体制づくりを進めていきたい。</p>
2 尾鷲市	対談項目2 「食」によるまちづくりについて	<p>今後、本市の食を通じた各分野での取り組みと、県における食の取り組みとを連携・協働できる部分等を協議し、全国や海外への展開に向けて、本市の「食」をPRするなど、共に取り組んでいただくようお願いしたい。</p> <p>また、本年度計画策定を進めている「食のまちづくり基本計画」において、まずは既存の商店、飲食店等を「尾鷲まるごと食の拠点」として位置づけるための連携イベント等を検討しているが、こうした「食の拠点づくり」においても、県も一体的に取り組んでいただくなどのご支援をいただきたい。</p>	<p>今、市において「食のまちづくり基本計画」の策定を進める中で、さまざまな分析をしていただいていることは良いことだと思うので、それを具体化していく中でご相談していただいたら対応していきたい。</p> <p>また、市域を超えて連携していくことも大事なので、我々もマッチングやコーディネートをしていきたい。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
3 尾鷲市	対談項目3 林業振興に向けた取組支援について		<p>本年度においては、中勢地区において木質バイオマス発電所の稼働が開始されると聞いており、木質バイオマス燃料の需要が非常に高まることで、未利用木材のカスケード利用が促進されるだけでなく、林業収益の下支えとなり林産業全体に好循環をもたらすと大きく期待している。</p> <p>これらを契機として、今後も県と一体となって林業の再生に向けて積極的に取り組んでいきたいと考えていることから、原木供給量の増大を図るための主伐の推進策、また、主伐のできる人材の育成の取り組みだけでなく、健全な森林に更新していくための植栽、獣害防止対策と併せたご支援を強力に押し進めていただくよう要望する。</p>	<p>来年度は、林業の活性化を県の重要なテーマに置いて、検討していきたいと思っている。</p> <p>獣害対策については、今年、鳥獣害防止法の改正があって、県も捕獲できるようになったので、捕獲の部分について、市町と協力して獣害対策できるよう検討していきたい。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
4 尾鷲市	対談項目4 都市計画道路尾鷲港新田線の整備について		<p>都市計画道路尾鷲港新田線については、他の幹線道路に比べ津波の影響を受ける範囲が少なく、早期啓開が可能なことから、本市の地域防災計画に定めた災害時の緊急輸送ネットワークの形成に欠かせないものである。</p> <p>また、東紀州（紀北）広域防災拠点と尾鷲港港湾計画に基づき耐震整備された第4岸壁とを結ぶ唯一の道路として、東紀州地域における緊急援助物資の輸送についても、極めて重要かつ有用な役割を果たす。</p> <p>現在、尾鷲港新田線を貴県による広域的な観点での整備及び管理をお願いしているところであり、尾鷲建設事務所並びに県庁との協議のなかで、前向きに検討し、本市としてできるだけ協力は行うので、早急な事業化に向けて検討していただくようよろしくお願いしたい。</p>	<p>この道路をつないでいくことは重要と考えており、県としても早期の整備について、市と連携をして主体的に取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>未整備区間には、墓地や住宅があることから、補償の交渉等もしなければいけないので、市の協力をお願いしたい。</p>